

# 令和3年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 トータルケア鍼灸学科

## 令和3年度学校関係者評価委員

### ■保護者

清水 真代様 トータルケア鍼灸学科2年 清水 小百合さん保護者

### ■企業関係者

土屋 奈央様 はりきゅうサロンQuiet代表

### ■他校関係者

小杉 彰宏様 中央調理製菓専門学校静岡校 製菓衛生師科 学科長

## 1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A
【現状の問題点】		
全体的に改善されており、浸透がされてきたと思われる。		
【改善のための方策】		
教室に掲示等している関係で以前に比べると浸透してきた。今後も継続し、さらに浸透するようにしていきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

## 2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	A
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は充分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	A
【現状の問題点】		
改善が進んでいる。コロナ禍であるが、積極的な学外研修への参加も進めていきたい。		
【改善のための方策】		
入学前オリエンテーションや入学後のオリエンテーションでも、学科共有スライドにて説明を初めており学科連携は向上してきている。今後も行事や連絡事項は、学科間で資料等を共有していきたい。各教員のスキルに合わせた研修を学園と協議しながら計画的に実施していきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

3. 教育活動		
【自己評価結果】		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	B
18	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
【現状の問題点】		
大きく改善された項目が多い。低学力者に関すると思われる設問17、設問19が若干下がっているので対策を検討したい。		
【改善のための方策】		
現在も早期に補講を開始しているが、補講でもカバーしきれない状態も見受けられるため、来年度からは毎週補講対象者を定める確認テストを実施するなどしていきたい。また、個別対応を強化していきたい。		
【関係者評価】		
静岡校の製菓では、クラスメイト同士でチューター制にて国家試験対策を実施している。		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	B
【現状の問題点】		
退学率低減について、モチベーションアップの方策を検討したい。		
【改善のための方策】		
退学率は他学科とも比べて高い傾向にある。3月に実施している特別講義をコロナが比較的落ち着く6月や7月上旬のホームルームを使用しながら早期からモチベーション向上の企画を検討する。		
【関係者評価】		
実技ペアは今までランダムで組んでいたが、仲の良いグループにしたり、少しでも学校に来やすくする工夫をした。		
5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	B
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
カウンセリングについては退学率低減ともつながるので、より一層の改善に努めたい。		
【改善のための方策】		
カウンセリングについては入学後にアナウンスをする程度になってしまっているので、定期的アナウンスをしながら、カウンセラーがいて、相談できる環境にあることを学生に知ってもらうことから始めていきたい。		
【関係者評価】		
カウンセリングができる環境が整っていることを知っているか娘に聞いてみたい。		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	A
【現状の問題点】		
機器整備計画を毎年検討していくようにする必要がある。		
【改善のための方策】		
現在の鍼灸業界の動向を見ながら、必要な物品の購入を計画的に検討していきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内（パンフレット）には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
今後も学生募集活動には力を入れて行く必要があるため、より一層の改善に努めたい。		
【改善のための方策】		
定員の充足率が向上することで様々な行事の実施、物品の購入が可能となるため、在校生に本校を選んでよかったと思ってもらえる行事等が実施できるよう、ガイダンスへの参加等を積極的に行っていきたい。		
【関係者評価】		
オンラインでのオープンキャンパスは、通常のオープンキャンパスでは来校されない遠方の方の参加者がみられるため、今後も継続していきたい。		

## 8. 財務

【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	B
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A
【現状の問題点】		
定員充足と財務は関連も深いので、募集活動に力を入れたい。		
【改善のための方策】		
今年度の新生のアンケート結果では、ガイダンスで本校を決めた学生が多かったため、全学科教員で分担しながらガイダンスへ積極的に参加していきたい。		
【関係者評価】		
特になし。		

9. 法令等の遵守		
【自己評価結果】		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	A
【現状の問題点】		
学校の中でも設問40は評価が低いので、どのように対策するか情報交換を行いながら検討していく必要がある。		
【改善のための方策】		
設問40に関しては、会議にて時間を設けてしっかりと各教員と情報共有していきます。		
【関係者評価】		
40に関しては、会議で時間をとって話し合いをしている。		